

地方自治体、スポーツ団体、民間企業（観光産業、スポーツ産業）等が一体となり、スポーツツーリズム、イベント開催、大会や合宿の誘致などによる地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション」の活動に対して支援を行い、スポーツを観光資源とした地域活性化や地域スポーツの活性化の促進を図る。

都道府県	団体名 ※下段：主な参画団体	事業内容・目的
岩手県 北上市	スポーツリンク北上	【取組内容】 ・トレイルランニング・サイクリング・ウォーキングコース設置事業 ・スポーツ大会・合宿誘致、地域資源活用アウトドアスポーツツーリズム事業
	北上市、(公財)北上市体育協会、特定非営利活動法人フォルダ、北上市陸上競技協会、北上市ラグビーフットボール協会、北上市ソフトテニス協会、夏油高原活性化タスクフォース、(株)北日本リゾート、北上商工会議所、J R東日本北上市駅、(一社)北上観光コンベンション協会、北上市ホテル旅館組合、北上ケーブルテレビ(株)	【事業目的】 冬季の観光資源である「夏油高原スキー場」周辺、桜の名所100選でもある展勝地「国見山」周辺地区にトレイルラン、サイクリング、ウォーキングコースを設定することで、既存の観光資源を新たなスポーツ資源として活用し、観光ピーク期以外にもアウトドアスポーツを活用した誘客が可能な観光まちづくりを図る。また、北上陸上競技場、北上総合体育館等、国体開催に向け整備した施設を団体レガシーとして活用し、大規模大会やスポーツ合宿の誘致を展開する。これらのアウトドアスポーツ集客や大会・合宿誘致活動の一元的な窓口をスポーツリンク北上が担い、合宿・主催者向けガイドブックの作成、ボランティア養成、P Rキャラバン・商談会、市民向けフォーラム等を行い、スポーツによる交流人口の拡大と市民の意識醸成を図る。
京都府 京丹波町	京丹波町 ホストタウン推進協議会	【取組内容】 ・国内外からのホッケー合宿の誘致 ・カヌー・ノルディックウォーク・熱気球等スポーツ観光資源発掘及び情報発信
	京丹波町、京丹波町教育委員会、京都ホッケー協会、京都府立丹波自然運動公園協力会、グリーンランドみずほ(株)、京丹波町商工会、京丹波町観光協会、京丹波町国際交流協会、京丹波町ホッケー協会	【事業目的】 「フィールドホッケー」を町技とする京丹波町では、町内に所在するホッケー専用グラウンド、京都府トレーニングセンターを活かし、スポーツ合宿等で国内外からの交流人口の拡大を図る「ホッケー合宿の聖地」を目指している。今回の事業では、これまでの交換留学で交流の深いニュージーランドに対し誘致活動を行うとともに、国内スポーツ少年団や中学校部活動の参加を募る町主催の大々的なホッケー合宿、日本代表チームの合宿受け入れなどを行い、今後ホッケー合宿の聖地となるための仕組みの構築を図る。また、河岸段丘を活用した新たなスポーツ観光として、ノルディックウォーキング、カヌー、熱気球体験イベントを開発・実施。周辺の道の駅・観光施設等とも連携し、誘客と町内の周遊を促進する。
熊本県 南関町	南関町スポーツコミッション	【取組内容】 ・新たなマラソンイベントの開催（仮称：イートラン i n なんかん） ・商店街活性化の新たなスポーツイベント（がまだそう熊本！難関突破！！いすー1 G P 南関大会） ・スポーツコミッション・シンポジウムの開催
	町長、教育長、東京女子体育大学講師、熊本大学教育学部教授、鹿屋体育大学教授、長崎国際大学准教授、九州看護福祉大学教授、ホテルセキア、吉本興業(株)、商工会、総合型地域スポーツクラブN P O法人A - life なんかん、N P O法人づくりネット、町経済課、町教育課	【事業目的】 5つの大学と吉本興業等が構成団体となっている組織特性を活用。トップアスリートやタレントの参加・協力も仰ぎ、町の特産物を味わいながら参加できるランイベントを町内の宿泊施設内のトレイルランコースで初開催。また商店街の活性化のため、商店街をスポーツフィールドとした「事務用いす」を使ったレースイベントを開催。これらのイベントに特産品や地場産品を提供するマルシェや観光案内ブースの設置、大学生による交流促進のためのプログラムアイデア提案などの展開も盛り込み、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。また、九州各地のスポーツコミッション関係者を招き、住民との交流会を含むシンポジウムを開催し、ネットワーク構築を図る。
宮崎県 (宮崎県庁)	スポーツランドみやざき 推進協議会	【取組内容】 ・I S A世界ジュニアサーフィン選手権開催を契機とした「サーフィンの聖地」「スポーツキャンプの聖地」のブランド確立と交流人口拡大 ・海外（ホストタウン）代表チームに対する合宿誘致活動
	(公財)みやざき観光コンベンション協会、県体育協会、(公財)宮崎県スポーツ施設協会、宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合、宮崎県ホテルデングス、宮崎日日新聞、宮崎市観光協会、県教育委員会、県観光推進課、県都市計画課、県内市町村スポーツ観光担当課ほか	【事業目的】 約50ヶ国から500名の18歳以下の選手が参加し、国内外から約40,000人の観戦者が集う日本初開催の「ISA世界ジュニアサーフィン」選手権において、外国人選手・観戦者に対する受け入れ体制の強化、開会セレモニー・パレード・スポーツイベント等を通じた県内市町村との交流事業、食・観光・サーフスポット等の世界に向けた情報発信を展開し、国際的な「サーフィンの聖地」・「スポーツキャンプの聖地」としてのブランド確立を図る。また、イギリス・ドイツ・イタリアなど、ホストタウン登録地域に対し、各国現地コーディネーターや県内合宿実績がある国内競技団体、県内開催の国際スポーツ大会で訪れる各国選手・コーチなどを通じ、海外代表チームの合宿誘致活動を展開する。